



礼拝ミニ講座（9）＜聖書朗読＞

礼拝において神が会衆にお会いいただきます。神のことばが読まれ、それによって神が会衆に語られ、そして会衆が聞き、応答するときに、神と会衆との出会いが起こり、礼拝が献げられます。聖書朗読によっても神のことばが語られるのです。

＜聖書の記述から＞

- ・旧約時代には、神はイスラエルの会衆にモーセや預言者を通してみことばを語られました。
- ・捕囚から帰還した民にエズラは律法を朗読し、聞かせました。
- ・主イエスは安息日に会堂に入り、旧約聖書を朗読しました。
- ・パウロはテモテに教会において聖書の朗読に専念するように教えました。

＜教会の礼拝において＞

現在、多くの教会の礼拝では宣教する聖書箇所を朗読していますが、聖書朗読は独立した礼拝プログラムの一つであり、必ずしも宣教とセットではありません。

司会者や奉仕者が聖書を朗読します。みことばが朗読されるところに神は臨在を明らかにされ、みこころを語り、会衆を祝福されます。ですから、会衆一同は文字通りに神の語りかけとして受け止める必要があります。

奉仕者は聖書朗読の奉仕のために祈りつつ、備えます。奉仕者のために祈りましょう。

参考聖書箇所…出エジプト 35 章、レビ 8:4-5、ネヘミヤ 8:1-6、ルカ 4:16、Ⅰテモテ 4:13

「礼拝ミニ講座」は、礼拝についての学びの入口として、会衆が礼拝について（特に礼拝プログラムについて）学び、整えられていくことを目的としています。礼拝前のひと時、個人の学び、グループでの学びにご活用いただければ幸いです。